

(本件に関する照会先)

日本銀行高松支店 総務課 087-825-1112

2012年1月31日

日本銀行高松支店

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている。

すなわち、設備投資は製造業を中心に増加している。個人消費は、乗用車販売を中心に持ち直しの動きがみられる。一方、住宅投資は、持ち直し基調にあるものの、足もと弱めの動きがみられる。公共投資は減少基調にある。こうした中、生産は、全体としては持ち直し基調にあるものの、弱めの動きが続いている。この間、雇用・所得環境は改善基調にある。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、設備投資は製造業を中心に増加している。

個人消費は、乗用車販売を中心に持ち直しの動きがみられる。

大型小売店の売上をみると、衣料品や雑貨類を中心に持ち直しの動きがみられる。

乗用車販売は、新車投入効果等もあって、持ち直している。

家電販売は、薄型テレビ等の販売が低調なことから、全体としては減少しているものの、エアコン等の白物家電では足もと持ち直しの動きがみられる。

主要観光地の入込客数をみると、島嶼部では増加しているものの、全体では前年を下回っている。なお、旅行取扱状況をみると、国内は堅調ながら、海外は低調に推移している。

住宅投資は、持ち直し基調にあるものの、足もと弱めの動きがみられる。

公共投資は、減少基調にある。

- 企業の生産動向は、全体としては持ち直し基調にあるものの、弱めの動きが続いている。

造船や非鉄金属、一般機械では高操業が続いている。窯業・土石は持ち直している。木材・木製品、家具では、住宅投資の持ち直しを背景に、増加している。この間、食料品では、在庫調整の進捗から、足もと持ち直しつつある。

一方、化学の一部と電気機械では、減産の動きが続いている。金属製品は、既往大型案件の剥落から、生産調整が続いている。鉄鋼は引き続き低水準の生産となっている。

- 雇用・所得環境は、改善基調にある。有効求人倍率が上昇しているほか、雇用者所得も、冬期賞与が前年を上回るなど、概ね下げ止まっている。
- 消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回って推移している。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（12月）は、法人向けの減少幅が縮小傾向にあることから、全体では4か月連続で前年比増加となった。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、12月末1.771%〈前月末1.788%〉）。

- 預金（12月）については、個人を中心に増加したため、全体では61か月連続で前年比増加となった。

- 倒産状況（12月）をみると、件数（10年11件→11年5件）、負債総額（同1,319百万円→同239百万円）ともに前年を下回った。

信用保証協会の代位弁済状況（12月）については、件数（10年57件→11年34件）、金額（同405百万円→同275百万円）ともに前年を下回った。

以 上